

動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会 総会・シンポジウム プログラム

日時: 平成 29 年 9 月 15 日(金)13 時 00 分~17 時 20 分
場所: 第 160 回日本獣医学会学術集会 第 9 会場
(鹿児島大学郡元キャンパス)
座長: 小沼 操(動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会)
平山 紀夫(麻布大学)

13:00~13:20

総会

(10 分 間 休 憩)

13:30~17:20

シンポジウム「動物用ワクチン開発のこれまでとこれから -病原体ゲノム情報からワクチン開発へ-

13:30~15:00

I. 動物用ワクチンの細胞-動物継代による弱毒化とマススケールへの留意点

(13:30~14:00)

1. 「鶏伝染性コリーザワクチンのワクチン用抗原の培養方法について
-菌体培養から組換え大腸菌を用いた培養へ-

坂元 隆一(一般財団法人化学及血清療法研究所)

(14:00~14:30)

2. 「豚コレラGP生ワクチンの開発から豚コレラ撲滅に至るまでの軌跡」

福所 秋雄(日本獣医生命科学大学)

(14:30~15:00)

3. 「鶏継代による鶏コクシジウム生ワクチンの作出とその特性およびプラットホームベクターワクチンへの展開」

松林 誠(大阪府立大学)

15:00~15:20

(20 分 間 休 憩)

15:20~16:20

II. 病原体ゲノム情報からのワクチン開発「逆遺伝学、逆ワクチン学」

(15:20~15:50)

1. 「リバーシ・ジェネティクス法を用いた狂犬病ワクチンの開発」

伊藤直人(岐阜大学)

(15:50~16:20)

2. 「リバーシワクチンロジー技術を用いた難培養性の魚病細菌ワクチンの開発」

松山知正(国立研究開発法人水産研究・教育機構増養殖研究所)

16:20~17:20

III. 最近上市された遺伝子組換え技術を使ったワクチンと海外での遺伝子組換えワクチンの紹介

(16:20~16:35)

1. 「ボルデテラ・ブロンキセプチカトキソイド・パスツレラ・ムルトシダトキソイド・豚丹毒混合(アジュバント加)ワクチン(組換え型)」

紺屋 勝美(一般財団法人化学及血清療法研究所)

(16:35~16:50)

2. 「豚 *Actinobacillus pleuropneumoniae* 感染症不活化ワクチン(組換え毒素)」

堤 信幸(一般財団法人日本生物科学研究所)

(16:50~17:20)

3. 「海外における遺伝子組換えワクチンの実用化動向」

江崎 素之(セバ・ジャパン株式会社)

※それぞれの講演に質疑応答の時間を含みます。